

令和元年度事業報告

一般社団法人 日本船用機関整備協会

第1 組織の概要

1. 会員

令和元年度末現在の会員は、次のとおりである。

正会員	555社	うち	整備業会員	539社
			製造会員	16社
賛助会員	30団体・個人	うち	団体	21団体
			個人	9人

〔 令和元年度の入退会は、入会6社（正会員 6社）
退会9社・1人（正会員 9社、賛助会員 1人）
合併による会員減1社 〕

2. 役員

令和元年度末現在の役員は、会長1名、副会長4名、専務理事1名、理事26名（理事総数32名）、監事2名及び顧問2名である。（役員名簿参照）

3. 委員会等

本協会の事業を実施するため、次の委員会を設置している。

- (1) 政策委員会(委員14名)
- (2) 船用機関整備士資格検定委員会(委員15名)
- (3) 船用機関整備士資格検定講習小委員会(委員11名)
- (4) 業務委員会(委員14名)
- (5) 中小型機関幹事会(委員11名)
- (6) 高速機関整備部会(委員16名)

4. 事務局

令和元年度末の事務局の概要は、次のとおりである。

(1) 所在地

東京都千代田区神田岩本町4番地9 サンディスク神田ビル8階
電 話：03-3256-0141
FAX：03-3256-0140

(2) 組織

専務理事 渡邊 元尚
事務局長(兼) 渡邊 元尚

(総務部)

部 長 鎌田 隆弘
係 員 丹 純子

- 1 庶務に関すること。
- 2 総会、理事会及び政策委員会に関すること。
- 3 予算及び決算に関すること。
- 4 事業計画及び事業報告に関すること。
- 5 会員及び会費に関すること。
- 6 経理、給与等に関すること。
- 7 文書、公印、規程等の管理に関すること。

(技術部)

部 長 伴 真
専任部長(兼) 正一 喜男
大下さや香

- 1 船用機関整備士の資格検定に関すること。
- 2 船用機関整備業の技術の向上に関すること。
- 3 船用機関の技術の改善に関すること。
- 4 船用機関整備士資格検定委員会及び講習小委員会に関すること。

(業務部)
部長 正一 喜男

- 1 船用機関整備業界の振興に関する調査研究に関する
こと。
- 2 船用機関整備業の振興に関する情報及び広報に関する
こと。
- 3 支部との連絡調整に関すること。
- 4 業務委員会、中小型機関幹事会、高速機関整備部会
に関すること。

第2 事業の概要

1. 船用内燃機関整備技術者認証機関証明の更新

平成27年1月21日に授与されました平成26年12月19日付け「船用内燃機関整備技術者認証機関の証明制度の制定について」に基づく「船用内燃機関整備技術者認証機関証明」の証明書の有効期間が本年1月20日をもって終了するため、昨年12月16日に証明期間の更新申請を行いましたところ、更新監査を経て、本年1月11日付けで石原典雄海事局検査測度課長から荒井誠二会長あて証明期間の更新が令和7年1月20日まで認められました。

「船用内燃機関整備技術者認証機関証明」は、機関故障に基づく海難防止等に係わる啓蒙を含めた船用機関の整備技術者の能力・知識・技術水準の維持を目的として事業団体が行っている認証制度を評価・証明しようとするものです。

当協会の行う船用機関整備士の資格検定事業は、国土交通省の審査の結果、まさしくこの認証制度に該当する、国土交通省の定める基準を満足するとされ、再び認定されました。

当協会としては、証明を再取得したことを受けて、引き続き今後発行する船用機関整備士資格証明書及び船用機関整備士証に、「この資格は、国土交通省により「船用内燃機関整備技術者認証機関」としての証明を受けた制度に基づき認定されている。」旨を明記するほか、船用機関整備士資格が「国土交通省公認の資格」であること、船用機関整備士の認知度が高まるよう、資格者バッジ、ヘルメットシール、名刺シールを配付、ホームページ、会報等の発行物、その他多くの媒体・機会を利用して今後とも「船用機関整備士資格」をPRして参ります。

2. 「船用機関整備士」の資格検定【日本財団助成事業】

船用機関整備技術者に対して講習会及び検定試験を実施することにより、知識と技量を備えた「船用機関整備士」を育成し、船用機関整備技術者の技術レベルの向上を図った。

(1) 委員会等の開催

船用機関整備士資格検定事業の実施計画、講習内容、試験問題、合否判定等を審議するため、「船用機関整備士資格検定委員会」を5回、「講習小委員会」を3回開催した。

また、本事業の一部を委託する全国11地方船用工業会の事務局長に業務内容を周知徹底するため、事務局長会議を平成31年4月18日、東京において開催した。

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 4月9日(火) | 第1回船用機関整備士資格検定委員会、第1回講習小委員会 |
| 7月16日(火) | 第2回船用機関整備士資格検定委員会、第2回講習小委員会 |
| 9月24日(火) | 第3回船用機関整備士資格検定委員会 |
| 12月17日(火) | 第4回船用機関整備士資格検定委員会 |
| 2月18日(火) | 第5回船用機関整備士資格検定委員会、第3回講習小委員会 |

(2) 指導書(テキスト)及び問題集の作成

- ① 新規講習会で使用する1～3級船用機関整備士の指導書及び問題集の2018年度版を見直して2019年度版を作成した。
- ② 更新講習会で使用する指導書(各級で共通使用)を作成した。
- ③ 3級の指導書を水産高校、水産系大学及び海員養成学校に送付した。

(3) 資格検定新規講習会の開催

検定試験の受験者を対象に資格検定新規講習会を下表のとおり実施した。

- ① 1級船用機関整備士新規講習会を下記6会場で開催、63名が受講した。

地区	実施場所(会場)	受講者数	開催日
東北	仙台市(東北港運会館)	10	6月4日(火)～6月6日(木)
関東	横浜市(波止場会館)	8	5月22日(水)～5月24日(金)
近畿	大阪市(大阪府立労働センター)	16	6月5日(水)～6月7日(金)
四国	高松市(高松港湾労働者福祉センター)	11	5月29日(水)～5月31日(金)
九州	福岡市(福岡商工会議所)	16	5月29日(水)～5月31日(金)
沖縄	那覇市(沖縄船員会館)	2	6月5日(水)～6月7日(金)
合計		63	

- ② 2級船用機関整備士新規講習会を下記9会場で開催、114名が受講した。

地区	実施場所(会場)	受講者数	開催日
北海道	小樽市(小樽港湾センター)	10	9月26日(木)～9月27日(金)
東北	仙台市(東北港運会館)	6	10月3日(木)～10月4日(金)
関東	横浜市(波止場会館)	16	10月10日(木)～10月11日(金)
中部	名古屋市(名古屋港湾会館)	7	10月17日(木)～10月18日(金)
近畿	大阪市(大阪府立労働センター)	13	10月17日(木)～10月18日(金)
中国	広島市(RCC文化センター)	16	10月3日(木)～10月4日(金)
四国	高松市(高松港湾労働者福祉センター)	8	10月17日(木)～10月18日(金)
九州	福岡市(福岡商工会議所)	29	10月3日(木)～10月4日(金)
沖縄	那覇市(沖縄船員会館)	9	9月26日(木)～9月27日(金)
合計		114	

- ③ 3級船用機関整備士新規講習会を下記10会場で開催、189名が受講した。

地区	実施場所(会場)	受講者数	開催日
北海道	小樽市(小樽港湾センター)	18	10月3日(木)～10月4日(金)
東北	仙台市(東北港運会館)	18	10月16日(木)～10月17日(金)
関東	横浜市(波止場会館)	34	10月3日(木)～10月4日(金)
中部	名古屋市(名古屋港湾会館)	10	9月12日(木)～9月13日(金)
近畿	大阪市(大阪府立労働センター)	38	9月26日(木)～9月27日(金)
中国	広島市(RCC文化センター)	15	9月12日(木)～9月13日(金)
四国	高松市(高松港湾労働者福祉センター)	9	9月26日(木)～9月27日(金)
九州	福岡市(福岡商工会議所)	37	10月10日(木)～10月11日(金)
	長崎市(長崎バスターミナルホテル)	6	10月17日(木)～10月18日(金)
沖縄	那覇市(沖縄船員会館)	4	10月10日(木)～10月11日(金)
合計		189	

(4) 検定試験の実施

資格検定新規講習会受講者に対して学科及び実技試験を実施し、合格者にその資格を取得したことを証明する船用機関整備士資格証明書(有効期間4年)及び船用機関整備士証を交付する。

- ① 1級船用機関整備士資格検定学科試験を6月28日に下記6会場で実施した。受験者数は昨年度の新規講習会受講者を含め68名で、51名が合格した。

地区	実施場所(会場)	受験者数
東北	仙台市(東北港運会館)	10
関東	横浜市(波止場会館)	8
近畿	大阪市(大阪府立労働センター)	16

四 国	高松市（高松港湾労働者福祉センター）	11
九 州	福岡市（福岡商工会議所）	21
沖 縄	那覇市（沖縄船員会館）	2
合 計		68

- ② 1級船用機関整備士資格検定実技・面接試験を、今年度学科試験合格者と昨年度学科試験合格者の合計57名の受験者に対し下記3会場を実施し、9月24日開催の船用機関整備士資格検定委員会において審議の結果、48名が合格した。

実施場所（会場）	受験者数	開催日
相模原市（三菱重工相模原技能訓練センター）	15	8月22日（木）
長浜市（ヤンマー(株)グローバル研修センター）	14	8月22日（木）
福岡市（ヤンマー建機(株)九州営業部）	28	8月29日（木）・30日（金）
合 計	57	

- ③ 2級・3級船用機関整備士資格検定試験（学科・実技）を11月22日に下記9会場を実施し、12月17日開催の船用機関整備士資格検定委員会において審議の結果、2級は121名の受験者のうち84名が、3級は197名の受験者のうち181名が合格した。

地 区	実施場所（会場）	受験者数	
		2級	3級
北海道	小樽市（小樽港湾センター）	11	18
東 北	仙台市（仙台サンプラザ）	6	18
関 東	横浜市（波止場会館）	17	34
中 部	名古屋市（名古屋港湾会館）	7	10
近 畿	大阪市（大阪府立労働センター）	15	43
中 国	広島市（RCC文化センター）	16	12
四 国	高松市（高松港湾労働者福祉センター）	9	12
九 州	福岡市（福岡商工会議所）	31	46
沖 縄	那覇市（沖縄船員会館）	9	4
合 計		121	197

(5) 資格更新講習会

資格証明書の有効期間（4年間）が満了する平成27年度資格取得者及び資格有効期間更新者を対象に資格更新講習会を実施し、「船用機関整備士」としての知識及び技量を維持していることの確認を行った。

- ① 1級機関整備士資格更新講習会を下記9会場で開催、146名が資格を更新した。

地 区	実施場所（会場）	受講者数	開催日
北海道	小樽市（小樽港湾センター）	8	5月30日（木）
東 北	仙台市（東北港運会館）	19	5月17日（金）
関 東	横浜市（波止場会館）	15	6月14日（金）
近 畿	大阪市（大阪府立労働センター）	25	5月31日（金）
中 国	広島市（RCC文化センター）	13	5月17日（金）
四 国	高松市（高松港湾労働者福祉センター）	15	7月26日（金）
九 州	福岡市（福岡商工会議所）	34	7月26日（金）
	長崎市（長崎バスターミナルホテル）	6	5月23日（木）
沖 縄	那覇市（沖縄船員会館）	11	6月14日（金）
合 計		146	

- ② 2級・3級船用機関整備士資格更新講習会（合同講習会）を下表のとおり22会場で開催し、2級141名、3級125名が資格を更新した。

地区	実施場所（会場）	受講者数		開催日
		2級	3級	
北海道	稚内市（稚内港湾施設株）	3	1	9月19日（木）
	函館市（函館工業会館）	4	3	10月17日（木）
	釧路市（釧路港湾福利厚生会館）	3	1	10月10日（木）
	小樽市（小樽港湾センター）	6	1	9月25日（水）
東北	仙台市（東北港運会館）	11	10	10月2日（水）
北陸	新潟市（東和造船株）	2	6	10月18日（金）
	七尾市（七尾商工会議所）	1	3	10月3日（木）
関東	横浜市（波止場会館）	16	13	10月9日（水）
中部	静岡市（清水テルサ）	2	3	9月27日（金）
	名古屋市（名古屋港湾会館）	6	1	10月16日（水）
	鳥羽市（鳥羽商工会議所）	1	5	10月11日（金）
近畿	大阪市（大阪府立労働センター）	21	15	10月16日（水）
中国	広島市（RCC文化センター）	14	10	10月2日（水）
	松江市（松江労働会館）	6	11	11月29日（金）
四国	高松市（高松港湾労働者福祉センター）	8	7	10月16日（水）
	今治市（今治ヤンマー株）	4	9	10月10日（木）
九州	福岡市（福岡商工会議所）	15	9	10月2日（水）
	長崎市（長崎バスターミナルホテル）	6	9	9月5日（木）
	上天草市（上天草市商工会大矢野支所）	3	4	10月31日（木）
	大分市（大分県中小企業会館）	4	1	11月8日（金）
	鹿児島市（鹿児島県市町村自治会館）	2	2	11月29日（金）
沖縄	那覇市（沖縄県水産会館）	3	1	9月25日（水）
合計		141	125	

(6) 船用機関整備士証のプラスチックカード化

資格者手帳を船用機関整備士証に名称を替え、紙製からプラスチックカード化を図り本格導入した。

3. 技術講習会の実施【自主事業】

比較的経験の浅い船用機関整備従業員を対象に、ノギス、マイクロメータ等の計測基礎の実技講習会を6箇所で開催した。

No.	開催地	開催日	受講者
1	那覇市 沖縄県水産会館	6月27日（木）	8
2	名古屋市 名古屋港湾会館	8月20日（火）	9
3	下関市 下関港湾福祉センター	8月27日（火）	9
4	尾道市 尾道市民会館	10月18日（金）	7
5	稚内市 稚内港湾施設（株）	10月30日（水）	6
6	那覇市 沖縄船員会館	11月8日（金）	7
合計			46

4. 小型船舶の機関事故防止推進【自主事業】

(1) 機関事故防止講習会の開催

小型船舶の機関事故を防止するため海上保安庁、小型船安全協会等の関係機関と連携してプレジャーボートオーナー、遊漁船事業者等に対して、機関事故防止の講習会を開催した。

No.	主催者(協力機関)	開催地	開催日	参加者	対 象
1	広島地区小型船安全協会	広島市 矢野西学区集会所	5月25日(土)	39	遊漁船団体
2	今治地域造船技術センター	今治市 株新来島どっく研修所	5月31日(金)	74	造船関連企業新 入社員
3	広島海上保安部	広島市 広島港湾合同庁舎	7月11日(木)	28	海保職員、海上 安全指導員
4	姫路海上保安部	姫路市 木場ヨットハー バー	7月25日(木)	8	プレジャーボ ートオーナー
5	函館地区小型船交通安全 協議会	函館市 函館一映マリーナ	10月5日(土)	26	プレジャーボ ートオーナー、海 保職員
6	日本船舶職員養成協会	横浜市 横浜船員教育セン ター	11月1日(金)	19	登録小型船舶教 習所教員
7	第十一管区保安本部	那覇市 那覇港湾合同庁舎	11月7日(木)	26	海保職員
8	沖縄船舶用工業会	宜野湾市 宜野湾港マリーナ	11月9日(土)	21	プレジャーボ ートオーナー
9	第二管区保安本部	塩竈市 塩釜港湾合同庁舎	11月26日(火)	26	海保職員
10	第七管区海上保安本部	北九州市 門司港湾合同庁舎	1月31日(金)	26	海保職員
11	日本船舶職員養成協会	横浜市 横浜船員教育セン ター	2月14日(金)	19	登録小型船舶教 習所教員
合 計				312	

(2) 小型船舶機関の定期メンテナンスの推進

小型船舶機関の定期的なメンテナンスによりエンジントラブルを未然に防ぎ、機関故障に起因する海難事故の防止を図るため、小型機関の定期的な点検・整備をパンフレットにより周知するとともに、保守点検記録用紙、定期メンテナンスシール、交換記録ステッカーなどを配付した。

(3) 他機関との連携・協力

① 6月に2日間に亘り東京海洋大学越中島キャンパスにおいて開催された「水上安全・安全運航サミット(JBWSS: Japan Boating & Water Safety Summit)」(海事局、海上保安庁、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会、(一社)水難学会、(公財)マリンスポーツ財団の共催)に参加した。

② 海上保安庁「小型船舶のためのマリンセーフティガイドブック」、第六管区海上保安本部「機関故障等の防止は日常点検と定期メンテナンスで」、日本漁船保険組合「漁船機関のトラブル防止のための日常・定期点検整備」等のパンフレット制作に協力した。

5. 機関整備業務の活性化推進

(1) 船舶検査の合理化及び外国人材の受け入れ

昨年度の国土交通省からの「新たな船舶検査等の構築に向けて」や「新たな外国人材の受け入れに関する制度」に関し、積極的な情報収集を行うとともに、政策委員会や理事会、総会後の会場等において会員の討議を行った。

この結果、船舶検査の合理化については、政策委員会においてサービスステーション制度拡充に関する要望を取りまとめ、理事会の承認を得て、令和元年12月16日に荒井誠二会長から石原典雄海事局検査測度課長あて主機最大出力の拡大及び対象機器の範囲拡大に関する要望書を提出した。

(2) 船舶検査の動向等に関する打合会の開催

最近の検査動向に関する情報提供、各地の実情を考慮した検査方法についての情報交換などを目的とし、各地のJG・JCIに協力いただいて、全国11ヶ所で検査打合会を実施した。

(3) 漁船保険関係機関との連携

日本漁船保険組合が実施する事故防止対策事業に協力するとともに、当協会が実施する機関事故防止講習会の開催等の事業の実施に関する協力要請を行った。

(4) 支部・地方船用工業会との連携

① 支部との連携

全国11ブロックにおいて開催された支部総会に本部役員が出席し、会員との情報交換・意見交換を行うとともに、各種事業や会員の入会促進等の活動を通じて支部の活性化を図った。

② 地方船用工業会との連携

4月に全国の地方船用工業会事務局長との会議を開催し、令和元年度に実施する「小型船舶の機関事故防止推進事業」及び「船用機関整備士資格検定事業」等について説明するとともに支援協力依頼を行い、各地方船用工業会の現況等について情報交換・意見交換を行った。

6. 経営基盤の強化

日本財団の造船関係事業資金貸付制度を利用して、資金の借入を希望する会員はいなかった。

7. 広報・宣伝等の推進

(1) 会報「整備協会報」95号、96号、97号、98号を発行した。また、協会ホームページの更新を行うとともに会員向けに毎月のスケジュールその他各種の情報をメールで提供した。

(2) 当協会事業及び船用機関整備士資格をアピールする広報活動を推進するため、会員名簿、協会概要、船用機関整備士資格者名簿、資格者バッジ、ヘルメット貼付用シールの配布、会員之章、船用内燃機関サービス・ステーション之章、JCI特定認定事業之章、整備士検印、整備士ラベル等の頒布事業を展開した。

(3) 全国水産高等学校長協会と連携し、8月に開催された「令和元年度第1回全国水産・海洋高等学校マリンロボットコンテスト」を後援し、審査員を派遣するとともに北海道函館水産高等学校の作品に対し今後一層の活躍を期待し会長特別賞を贈り表彰した。

8. 優良機関整備士の表彰

船用機関整備士の社会的地位及び技能水準の向上を図ることを目的として、優良船用機関整備士の会長表彰を行った（授彰者23名）。

9. 褒章・叙勲・大臣表彰等

(1) 会員の方が国から褒章、叙勲を賜りました。

(役職は受章時)

黄綬褒章 (秋)

浅田 栄一	(株)浅田鐵工所	取締役会長
太田 義久	(株)太田鐵工	取締役会長

旭日双光章 (秋)

楨田 實	(株)マキタ	代表取締役会長
------	--------	---------

(2) 令和元年「海の日」にあたり、海事功労、永年勤続及び統計調査・発明考案等の功績に対して表彰が行われ、当協会会員の中から次のとおり国土交通大臣表彰7名・1社（海事功労7名、統計調査1社）、地方運輸局長等表彰29名（海事功労5名、永年勤続23名、マリンエキスパート1名）の合計36名・1社のみなさまが表彰の栄に浴されました。

(役職は受賞時)

国土交通大臣表彰 (海事功労)

鈴木 晴夫	(有)共栄鐵工所	代表取締役社長
菅原 章夫	(株)菅原ディーゼル	代表取締役社長
国兼 庄一	(有)八幡鐵工所	代表取締役
高橋 哲男	(有)湊製作所	代表取締役
杉本 昭	(株)赤阪鐵工所	代表取締役会長
木下 和彦	阪神内燃機工業(株)	代表取締役社長
川崎 鶴巳	(株)旭	取締役会長

国土交通大臣表彰(統計調査)

ヤンマー株式会社エンジン事業本部特機エンジン統括部生産部塚口工場

運輸局長 (監理部長) 表彰受賞者 (海事功労)

北海道運輸局長

鎌田 仁	第一内燃機製作所	代表取締役
------	----------	-------

北陸信越運輸局長

石見 年明	石見鐵工所	代表
長岩 剛志	共和鐵工(株)	代表取締役社長

神戸運輸監理部長

川元 克幸	阪神内燃機工業(株)	代表取締役専務執行役員
-------	------------	-------------

中国運輸局長

今田 徹男	共和工業(株)	代表取締役社長
-------	---------	---------

運輸局長 (監理部長) 表彰受賞者 (永年勤続)

北海道運輸局長

中野 幸雄	(有)共栄鐵工所	整備工
-------	----------	-----

東北運輸局長

佐藤 勝也	宮城ヤンマー(株)	係長
佐々木 克彦	(株)新和エンジンサービス	部長
西城 孝洋	(株)小野寺鐵工所	課長
佐藤 公志	(株)小野寺鐵工所	課長補佐
齋藤 眞一	(株)小野寺鐵工所	課長
紺野 正彦	小名浜造船(株)	溶接工

北陸信越運輸局長

田坂一男 (株)ハイメックスキタヤマ 業務1課 課長
石川信行 (株)ハイメックスキタヤマ 業務2課 課長

中部運輸局長

田中一良 (株)赤阪鐵工所 生産管理部 顧問
大石博俊 (株)赤阪鐵工所 技術部制御技術課 参与
増田博 (株)赤阪鐵工所 製造部製品課 参与
城山美津吉 (株)波切ヤンマー商会 技術部 顧問

神戸運輸監理部長

木村博史 阪神内燃機工業(株) 第一製造部生産技術課
川口伊三夫 ヤンマー(株) エンジン事業本部特機エンジン統括部生産部尼崎工場
組立グループ組立係小形組立班

中国運輸局長

遠部久男 本瓦造船(株) 工務部造船課加工グループ
北川顕資 向島ドック(株) 営業グループ リーダー
海津賢二 (株)三和ドック 管理部 部長
阿部修二 (株)三和ドック 機関部機関課第一仕上班 班長
宮地孝 (株)三和ドック 管理部管理課保安係
松原健悟 内海造船(株) 品質保証部長
小林俊文 内海造船(株) 新造船事業部瀬戸田工場機電工作部 技術課長
亀田忠典 (株)神田造船所 船殻工作部外業課クレーン玉掛班 班長

運輸局長(監理部長)表彰受賞者(マリンエキスパート・ジュニア)

神戸運輸監理部長

藤原和弘 阪神内燃機工業(株) 第二製造部機関課 職場長

(3) 当会事業にご尽力を賜りました方々が文化功労者・叙勲の荣誉に浴されました。

文化功労者(秋)

笹川陽平 (公財)日本財団会長
(当協会設立以来、当会事業にご助成を賜っています。)

旭日大綬章(春)

亀井静香 元運輸大臣 (当協会設立の大臣認可を賜りました。)
笹川陽平 (公財)日本財団会長
(当協会設立以来、当会事業にご助成を賜っています。)

旭日双光章(春)

五十嵐由之 東和造船(株) 代表取締役社長
(資格検定事業における講習会場をご提供いただいています。)

瑞宝双光章(秋)

田井啓三 前四国支部(四国船用工業会)事務局長、元四国運輸局海上安全環境部
長
(長く当会事業にご尽力賜りました。)

11. 公益目的支出計画の実施完了

社団法人から一般社団法人への移行時に確定した公益目的財産額を、公益目的事業に支出することによって“零”とすることとされました。当協会の公益目的財産額は1億7千2百万円強とされ、当協会は平成24年度を初年度とする6年間の公益目的支出計画を立て、公益目的のための支出を

適正に行って参りましたが、平成29年度までの計画期間に完了が見込めなかったため、一昨年度国に計画期間を1年間延長する旨の計画の変更認可を受けました。最終年度となる平成30年度において、公益目的支出計画の実施事業である自主事業の機関事故防止事業及び機関整備活性化事業を実施した結果、昨年度をもって計画を滞りなく完了しました。このため、国にその旨を報告するとともに、公益目的支出計画の実施完了の確認を求めましたところ、10月9日付けの安倍内閣総理大臣名の確認書を頂戴しました。

12. 総合補償制度の加入募集

整備業会員の皆様を被保険者とする総合補償制度（請負業者賠償責任保険・生産物賠償責任保険）団体契約の加入募集を行いました。

第3 会議等の開催

1. 総会

第8回定時総会

- | | | |
|------|---|-------------|
| 開催時期 | 6月12日(水) | 東京：東海大学校友会館 |
| 審議事項 | ・平成30年度事業報告及び決算報告並びに公益目的支出計画実施報告書について
・令和元年度事業計画及び収支予算について
・2020年度日本財団助成金の申請権限を理事会に委任することについて
・役員を選任について | |

2. 理事会

① 第15回通常理事会

- | | | |
|------|---|-----------|
| 開催時期 | 5月22日(金) | 東京：八重洲倶楽部 |
| 審議事項 | ・平成30年度事業報告及び決算報告並びに公益目的支出計画実施報告書について
・令和元年度事業計画及び収支予算について
・諸規程の改正について
・会員の入退会について
・優良船用機関整備士表彰について | |
| 報告事項 | ・代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告について | |

② 第16回通常理事会

- | | | |
|------|--|-----------|
| 開催時期 | 10月16日(水) | 東京：八重洲倶楽部 |
| 審議事項 | ・日本財団に対する2020年度助成金の申請について
・会員の入退会について
・会長職務執行順位について
・検査の合理化・効率化について | |
| 報告事項 | ・代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告について | |

3. 委員会等

① 第1回船用機関整備士資格検定委員会・第1回講習小委員会

- | | | |
|------|---|-----------|
| 開催時期 | 4月9日(火) | 東京：日本財団ビル |
| 審議事項 | ・平成31年度1級船用機関整備士資格検定実技試験について
・平成31年度2・3級船用機関整備士資格検定の実施について | |

② 地方船用工業会事務局長会議

- | | | |
|------|--|-----------|
| 開催時期 | 4月18日(木) | 東京：八重洲倶楽部 |
| 審議事項 | ・平成30年度事業報告書(案)及び令和元年度事業計画(案)について
・技術講習会等の開催状況について
・船用機関整備士資格検定等の開催事業について
・各支部の実情について | |

- ③ 第2回船用機関整備士資格検定委員会・第2回講習小委員会
 開催時期 7月16日(火) 東京：航空会館
 審議事項 ・2019年度1級船用機関整備士資格検定学科試験の結果について
 ・2019年度1級船用機関整備士資格検定実技・面接試験について
- ④ 第3回船用機関整備士資格検定委員会
 開催時期 9月24日(火) 東京：航空会館
 審議事項 ・2019年度1級船用機関整備士資格検定試験の結果について
 ・2019年度1級船用機関整備士資格更新の結果について
- ⑤ 第52回政策委員会
 開催時期 9月26日(木) 東京：八重洲倶楽部
 審議事項 ・令和元年度事業の進捗状況について
 ・会員の入退会の状況について
 ・2020年度船用機関整備士資格検定事業計画（日本財団への助成金申請）について
 ・検査の合理化・効率化について
- ⑥ 第42回業務委員会
 開催時期 12月3日(火) 東京：八重洲倶楽部
 審議事項 ・令和元年度事業の進捗状況について
- ⑦ 第4回船用機関整備士資格検定委員会
 開催時期 12月17日(火) 東京：日本財団ビル
 審議事項 ・2019年度2・3級船用機関整備士資格検定試験の結果について
 ・2019年度2・3級船用機関整備士資格更新の結果について
- ⑧ 第5回船用機関整備士資格検定委員会・第3回講習小委員会
 開催時期 2月18日(火) 東京：日本財団ビル
 審議事項 ・2020年度機関整備士資格検定事業実施計画について
 ・2020年度1級船用機関整備士資格検定の実施について
 ・2020年度1級船用機関整備士資格有効期間更新の実施について
- ⑨ 第53回政策委員会
 開催時期 3月18日(水) (書面審議)
 審議事項 ・令和元年度事業報告(案)及び決算見込みについて
 ・令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 ・会員の入退会の状況について
 ・優良船用機関整備士表彰について

4. 支部活動

北海道	船舶検査動向等打合会	5月10日(金)	室蘭	室蘭プリンスホテル
	通常総会	6月21日(金)	小樽	小樽港湾センター
	機関事故防止講習会	10月5日(土)	函館	函館一映マリーナ
	技術講習会	10月30日(水)	稚内	稚内港湾施設(株)
東北	通常総会	6月7日(金)	仙台	仙台サンプラザ
	船舶検査動向等打合会	6月7日(金)	仙台	仙台サンプラザ
	機関事故防止講習会	11月26日(火)	塩竈	塩釜港湾合同庁舎
北陸	通常総会	6月14日(金)	七尾	のと楽
	船舶検査動向等打合会	6月14日(金)	七尾	のと楽
	機関事故防止講習会	3月10日(火)	村上	新潟県漁協岩船支所

関 東	通常総会	6月26日(水)	東 京	八重洲倶楽部
	機関事故防止講習会	11月 1日(金)	横 浜	横浜船員教育センター
	機関事故防止講習会	2月14日(金)	横 浜	横浜船員教育センター
中 部	通常総会	6月17日(月)	名古屋	名古屋港湾会館
	船舶検査動向等打合会	7月 8日(月)	名古屋	名古屋港湾会館
	船舶検査動向等打合会	7月 9日(火)	伊 勢	伊勢シティーホテル
	船舶検査動向等打合会	7月19日(金)	静 岡	クーポール会館
	技術講習会	8月20日(火)	名古屋	名古屋港湾会館
	船舶検査動向等打合会	12月 9日(月)	名古屋	名古屋港湾会館
近 畿	通常総会	5月20日(月)	大 阪	ホテルグランヴィア大阪
神 戸	通常総会	7月29日(月)	神 戸	湊川神社 楠公会館
	船舶検査動向等打合会	12月12日(木)	神 戸	神戸第2地方合同庁舎
中 国	機関事故防止講習会	5月25日(土)	広 島	矢野西学区集会所
	通常総会	7月 4日(木)	広 島	広島ガーデンパレス
	船舶検査動向等打合会	7月 4日(木)	広 島	広島ガーデンパレス
	機関事故防止講習会	7月11日(木)	広 島	広島港湾合同庁舎
	機関事故防止講習会	7月25日(木)	姫 路	木場ヨットハーバー
	技術講習会	8月27日(火)	下 関	下関港湾福祉センター
	技術講習会	10月18日(金)	尾 道	尾道市民会館
四 国	機関事故防止講習会	5月31日(金)	今 治	(株)新来島どっく研修所
	通常総会	7月17日(水)	高 松	マリンパレスさぬき
	船舶検査動向等打合会	7月17日(水)	高 松	マリンパレスさぬき
九 州	通常総会	7月11日(木)	宗 像	ロイヤルホテル宗像
	機関事故防止講習会	1月31日(金)	北九州	門司港湾合同庁舎
沖 縄	技術講習会	6月27日(木)	那 覇	沖縄県水産会館
	通常総会	7月26日(金)	那 覇	沖縄船員会館
	船舶検査動向等打合会	7月26日(金)	那 覇	沖縄船員会館
	機関事故防止講習会	11月 7日(木)	那 覇	那覇港湾合同庁舎
	技術講習会	11月 8日(金)	那 覇	沖縄船員会館
	機関事故防止講習会	11月 9日(土)	宜野湾	宜野湾港マリーナ